

No.	件名	項目	内容	回答
1	野外活動場	設計	最低限の広さを教えていただきたい。	一堂に会することが好ましいと考えていますが、運営事業者にアクティビティを考えていただく上で、ローテーションなどの工夫が可能であればご提案ください。
2	飯盒炊飯場	設計	300人規模の屋根付きの飯盒炊飯場は大きすぎると感じるがいかがか。	中学校では1校で240人規模の学校があります。費用対効果とのバランスを考慮した提案を望みます。
3	敷地内の樹木	設計	施設建設のために既存施設周辺の樹木を伐採することについて抵抗はあるか。	抵抗はありません。現状ヤマビルが大量に発生している状態なので、来年度に間伐をしようと考えています。
4	擁壁	設計	擁壁についてはどのように考えているか。	今後必要であれば、コア抜きや基礎の調査等を行い、安全性の確認を行いたいと考えています。
5	擁壁	設計	擁壁のやり替えについて要否の判断がつかないが、その分の費用はどのように計上すれば良いか。	やり替えが必要な場合の費用を別にご提示ください。
6	クラフト小屋	設計	具体的にどういった要望、使い方、体験を望んでいるか、イメージがあれば教えていただきたい。	自然散策、自然採集、クラフト制作、薪割り、林業体験、日光彫、陶芸、益子焼、ふくべ作り、そば打ち、防災体験を行いたいという教員からの声があり、森林を上手く活用してほしいという考えからクラフト小屋の設置を要求水準に取り入れました。
7	クラフト小屋	設計	クラフト小屋は1校単位でできる大きさを想定しているか。	体験学習を全員でまとめて行うことは必須ではないと考えています。ローテーションを組んだプログラムとそれに見合った広さのご提案をお願いします。
8	クラフト小屋	設計	クラフト小屋のイメージは工作室のようなイメージか。	小学校の図工室のようなイメージを想定しています。
9	教員用宿泊室	設計	学校利用時の教員の宿泊室と児童の宿泊室を離れた位置に配置しても問題はないか。	同じフロアのイメージが強いですが、教員の意見を聞きながら協議する事項になると考えます。
10	ゾーニング	設計	集団行動をする際の人数単位（班・クラス・全体）の想定はいかがか。	例えばアクティビティを行う際は全員で行うのが最善と考えますが、その分施設の面積が増えてしまうのであれば、ローテーションする考え方もあります。これはアクティビティに限らず開校式、閉校式も各学校でスイッチしたり、食堂やお風呂も運営が上手くできるのであれば、間取りを絞る提案も可能だと思っています。
11	ゾーニング	設計	集団行動の際に学校が人数単位を指定することはあるか。	基本的には無いと考えます。
12	図書スペース	設計	図書スペースの広さとイメージをお聞かせいただきたい。	例えば、戦場ヶ原のハイキングの前夜にどういった生物がいるのかを調べたりする等を想定しています。そういった場合には1クラス単位で動くことが多いと思いますので、35人程度が利用できる広さが妥当と考えます。
13	学校利用と一般利用	設計	学校利用と一般利用の比重について、どのようにお考えか。	一義的には学校利用に重きを置いていますが、一般利用も含めて総合的な維持管理・運営を考えた時に収益を念頭に置く必要があると考えます。
14	下足利用	設計	下足利用について、どういったことにメリットを感じているのか。	下足利用のメリットは、下駄箱での滞留解消やバリアフリーへの対応のしやすさ、建物面積の圧縮、一般利用時に感じるホテルとのギャップ解消などが挙げられますが、その分清掃等の手間が発生するため、ご提案に委ねようと考えています。
15	グラウンド	設計	グラウンドのスポーツ利用について、キャッチボール程度の想定か。具体的なスポーツを何か想定しているか。	児童・生徒が林間学校として利用する際は朝のラジオ体操、夜のキャンプファイヤーが主となります。スポーツ利用に関しては一般利用を考えた時に必要があると想定し記載しています。
16	調整池	設計	調整池については再度整備しなくてはならないものか。	現段階でそういった話は特段聞いておりません。規模によって必要になる可能性はあるので、日光市との協議・相談事項になると考えます。

No.	件名	項目	内容	回答
17	インフラ関係	設計	道路側に埋設されているインフラの情報を教えてほしい。	インフラの情報については確認できる資料がないため、日光市にお問い合わせください。
18	インフラ関係	設計	道路に下水管は埋設されているのか。	インフラの情報については確認できる資料がないため、日光市にお問い合わせください。
19	インフラ関係	設計	下水道についての調査を独自に行ってもよいか。	提案のための調査であれば行ってください。
20	教員用客室の仕様	設計	教員用の客室については、ワーケーション利用などを想定した時に、もう少しグレードを上げたいと考えているが、そういった提案は可能か。	費用対効果の面で妥当であれば可能です。
21	土足利用	設計	土足なのか入口で靴を脱ぐのか、指定があれば教えていただきたい。	土足利用については各所室の要求水準書に書かせていただいておりますが、土足がいいと思いつつも、運営事業者からすると清潔に保つことが難しいなどの問題があると思いますので、ご検討いただきたいと考えています。
22	評価	設計	各諸室の要求水準を超えるものに関して、何かしら加点あるいは減点の対象があるのか。	費用対効果の面でどちらにもなり得るものだと捉えています。
23	共用部	設計	体育館や食堂などの3校同時でも共有利用する諸室について、タイムシェアという考え方のもと、部屋の数や大きさを圧縮して良いか。	運営の中でうまく調整できるのであれば問題ないと考えます。
24	キャンプファイヤー	設計	現在は建物南側3か所設けているが、今後は3校同時にキャンプファイヤーを行う想定でいるか、日にちや時間帯をずらすことは可能か。	提案内容により協議事項となります。
25	自然公園法	設計	自然公園法の該当地域か。環境省との協議や資料があればご提示いただくことは可能か。	国立公園管理事務所には調査しており、敷地全体が国立公園に該当していると聞いています。また、森林部分の一部、南側の道路中心から50mの範囲については第3種特別地域、それ以外は全て普通地域とのことです。
26	クラフト小屋	設計	飯盒炊飯やクラフト小屋について、配置場所について何かお考えがあるか。	配置に対しては特段ありません。
27	土足利用	設計	野外活動はどのようなものを想定しているか。	今まで敷地内ではキャンプファイヤーや肝試しを行っていました。また日中のプログラムでは、戦場ヶ原でのハイキングなどを実施しており、雨でも決行するため足元が汚れるケースが多くありました。
28	施設のグレード	設計	施設のグレードは、色々な指標が要求水準書にでているが、基本的には合宿施設レベルのグレード感ということを考えていればよいか。	林間学校としては要求水準書のとおりですが、一般利用の際の需要も含めて検討したご提案を期待しています。
29	提案数	設計	アイデアをたくさん出したいと思っているが、その分金額に跳ね返ってくる。どの塩梅で出すのが良いか悩ましい。	子ども達の利用を主軸に一般利用向けの+αの提案をする中で、付加価値、事業の実現性、費用対効果等の観点から総合的に評価するため、提案の多さ・少なさはあまり影響がないと考えます。
30	現地視察	設計	設計する中でさらに現地視察、森林の中に入りたいと思っているが可能か。	これから解体工事に着手するため、敷地内への立ち入りの機会を設けることは出来かねます。
31	調査費用の負担	設計	敷地の調査等に様々な費用が発生することが考えられるが、区が発注・負担してくれるのか。	これから土質調査（ボーリング調査）を行うことは決まっておりますが、それ以外で契約前に各事業者が独自に調査するものについては、それぞれに負担していただくことになります。 なお、今後事業化検討期間などで各事業者から要望があった調査については、必要だと判断した場合に限り区が発注いたします。
32	駐車場	設計	バスは8台駐車する想定でよいか。	お見込みの通りです。
33	駐車場	設計	それ以外の乗用車は下の運動場部分に止めてもよいか。	車の出入りがあると雨天時に轍ができる恐れがありますので、提案内容を見て協議とさせていただければと思います。
34	エントランス	設計	旧施設と同様にエントランスを3箇所設けた方がよいか。	ご提案内容によりますが、運営事業者がうまくやりくり出来るのであれば必要なくなるかもしれません。
35	学校利用	設計	中学校の生徒数が多い学校は1校での利用となるか。	中学校については生徒数に関わらず、できれば1校ずつの利用としたいと考えています。

No.	件名	項目	内容	回答
36	学校利用	設計	男女比はどのようになっているか。	各校、その年によって変わります。
37	学校利用	設計	1クラスの人数は何人か。	小学校・中学校ともに35人が最大数となります。
38	データ	設計	解体図面・ボーリング調査・既存施設の図面の提供はしていただけるか。。	問合せいただいた事業者に資料を貸与する形を取ります。 なお、ボーリング調査に関しては、旧施設の建設時に行った記録となります。
39	事業者選定	制度	第一段階では個別対話を経て教育委員会が1つの団体を選定するという認識で良いか。	お見込みの通りです。
40	事業者選定	制度	1つの団体に選定後、検討委員会に改めて提案内容を説明する形か。	お見込みの通りです。
41	事業化検討期間	制度	参加事業者全社に対してヒアリングを実施するのか。	最低1回は個別対話を実施いたします。
42	評価	制度	価格は付加価値も含め、どれくらいの比率で評価されるか。	「公共施設整備における民間提案制度実施要領」P8に掲載のとおりです。
43	評価	制度	構造の評価について、耐用年数によって評価が変わるか。	構造だけを理由として評価が大きく変わるとは考えにくいと考えます。例えば施設を長く使うための維持管理計画等がセットで提案されれば、評価の対象となる可能性はあります。
44	提案内容	制度	複数の提案をすることは可能か。	募集要項P10に記載のとおり複数提案はできません。
45	提案内容	制度	事業化検討期間中のヒアリングによって提案内容の形を変えても良いか。	区の要望を形にするために追加資料を提出していただく機会がありますが、そのレベル感であれば問題ないと考えます。
46	提案書	制度	今回は自由提案だと思うが、ページ数の上限、下限、記載する文字の最低サイズの指定も自由と考えて良いか。	ページ数の上限、下限、文字サイズの指定はございません。明快で評価しやすい資料のご提出をお願いします。 また、様式指定のない資料はA4判と記載しておりますが、プランの提案等はA4だと収まりにくいものもあるかと思しますので、A3版で三つ折りにしてご提出していただいても問題ありません。
47	提案書	制度	提案時に最低限必要な情報は何か。	「（仮称）江戸川区立日光林間学校整備事業説明資料」P5の例示をご確認ください。
48	提案書	制度	提案時に企業名の記載はしていいか。	募集要項P6に記載のとおりです。
49	事業化検討期間	制度	個別対話はプレゼン形式なのか、対話形式なのか。	最初は提案内容を理解するための機会と考えておりますので、プレゼン形式で行い、その後対話形式になると想定しています。
50	評価	制度	「公共施設整備における民間提案制度実施要領」に記載されている評価基準をベースにして評価するという解釈でいいか。	お見込みの通りです。
51	評価	制度	検討委員会は1度目は入らずに内部で評価して1社を選定し、その後検討委員会が基本計画案に対して評価をするということによろしいか。	お見込みの通りです。
52	評価	制度	今回の評価の中で林間学校としての提案と財政負担軽減、両方を当然求めていると思うが、江戸川区はどちらを強く求めているか。	どちらも強く求めています。持続可能な施設として存続するためにはできるだけ維持管理・運営の費用負担が無いうようにしたいと考えております。
53	提案額	制度	事業提案の中で提示するコストはあくまでも提案額という理解でいいのか。契約額に準じる考えか。	仮に検討委員会の評価が随意契約相当になったとしても、その後契約に向けて精度を高めていく中であまりにも金額に乖離が生じた場合、その後の検討委員会で評価が見直される可能性があります。
54	類似業務実績に対する評価	制度	事業内容に関する類似業務を含めた実績の有無という記載があるが、評価の採点基準に記載がないので、対象外と考えていいか。	直接的に評価するわけではありませんが、例えば採点基準に実現可能な事業かどうかを評価する項目があるため、その際に1つの指標とする可能性があります。
55	共同事業体の構成	制度	包括管理を行う企業を入れることは可能か。	提案事項になる内容ですので可能です。
56	事業化検討期間	制度	事業化検討期間中は額の増減など都度見直す形となるのか。	提出していただいた提案書を基に双方で摺り合わせを行う形になるかと思います。

No.	件名	項目	内容	回答
57	知的財産権	制度	仮に選定業者とならなかった場合、こちらで提案した内容を採用することはないか。	その会社独自の考えのものについてはおっしゃるとおりですが、例えばカフェや食堂を作るというような世間一般に考えられるような提案については他社も同様に提案してくる可能性があることをご承知おきいただければと思います。
58	プロポーザル型の場合	制度	プロポーザル型になった場合、再度2位3位の業者もまたそこで参加できるか。	参加可能です。
59	インセンティブ	制度	1位になった業者は優先交渉者という立場になるのか。	随意契約型になればそういう扱いになると考えますが、プロポーザル型の場合は次回プロポーザル時の加点の有無のみとなります。
60	基本計画	制度	事業費を算定するうえで基本計画作成のための調査費なども見込んで提出すれば良いか。	提案金額に含めてご提出いただければと思います。 なお、基本計画案の策定にご協力をいただきますが、基本計画自体は区が策定することを想定しています。
61	事業化検討期間	制度	事業化検討期間以降の動きはどのような想定か。	事業化検討期間では提案を頂いた全ての事業者と個別対話を実施し、教育委員会事務局の中で1社を選定します。なお、ご提案者やご提出物の量によってスケジュールが変動することが想定されます。 その後、検討委員会が審査・評価を行います。審査に出すにあたっては、官民が協力して基本計画案の策定を行います。 なお、選定された1社は検討委員会の評価によりインセンティブを受ける権利を得ることになります。
62	整備内容	コスト	どこまでコストをかけていいか、目安を持っておきたい。整備費の目安、要求水準を超える提案に対して、区としてどのように評価するか考えを聞かせてほしい。	整備費用については、上限、下限は定めていません。評価については、「公共施設整備における民間提案制度実施要領」P8に掲載しています。
63	整備内容	コスト	建設費に関しては民間の自由な提案を引き出すためにあえて明言していないのか、提案次第で予算金額を調整していくのか、イメージ的にはどちらに近いのか。	採用された提案内容をもとに行う詳細検討の中で、予算化を行います。区民の理解が得られる合理的な水準である必要があります。
64	整備内容	コスト	付加価値となる提案部分がどれくらい響くか教えていただきたい。	「公共施設整備における民間提案制度実施要領」P8に掲載のとおりです。
65	減免の考え方	コスト	現状の林間学校では、ご家庭からいくら徴収しているのか。	小学生は一泊9,900円かかっており、公費で4,300円を負担しています。この9,900円には二食の食費は含まれていますが、各校が行う体験学習にかかる費用は含まれていません。
66	減免の考え方	コスト	区民の方の休日利用を想定した際になんらかの優遇、優先予約など期待値として何か持たれているか。	区民が当然に優遇されるべきであると考えます。
67	整備内容	コスト	例えば、50億円の提案がある一方で60億円の別提案があり、その10億円の差は運営面で回収することができるものだった場合、どのような考え方になるか。	提案内容と金額を比較した際に、メリットが大きいという評価を区民ができるかという観点が重要なのではと考えます。
68	予算規模	コスト	整備費用について予算として上限が決まっているか。	決まっておりません。
69	予算規模	コスト	要求水準書に書かれた施設を建設した場合の価格は想定されているのか。	過去実施した公開サウンディングの結果を参考にしています。 https://www.city.edogawa.tokyo.jp/documents/60279/kekka.pdf
70	建設費	コスト	参考金額がないため、建設費については削減効果が表に出ない。	区としてある程度の相場観は持っていますが、事業者の+αのアイディアを期待しているため、指標を出すつもりはありません。
71	中学生の利用想定	構想	中学生の利用を想定しているとの記載があったが、主にどのような使い方を想定されているのか。	小学生と同様に林間学校としての使い方を想定しています。 現状江戸川区の中学2年生は各校で移動教室の行き先が大きく異なりますが、今後は宿泊先を固定して移動教室を実施したいと考えています。
72	森林の伐採	構想	樹木はどこまで伐採していただけるものなのか教えていただきたい。	今年度中に間伐計画を立てようと思っており、これから全木調査を行います。予定通り進めば来年度に間伐をしていくことになりますが、全体で30%前後の間伐になると想定しています。
73	物価上昇への対応	契約	随意契約となった場合、一般的な公共工事を行う際の物価スライドの対応はしていただけるか。	提案時点で確実に施工できる工期、金額のご提示が大前提になりますが、工期を含め、インフレスライドもあると考えていただいて構いません。

No.	件名	項目	内容	回答
74	工事期間中の支払い	契約	工事期間中の費用の支払い（前払い金）はどのようなイメージか。	「江戸川区公共工事の前払金取扱要綱」「江戸川区公共工事の中間前払金取扱要綱」「江戸川区工事請負契約標準約款」に準じた支払いを想定しています。
75	予算	契約	年度ごとに予算を組んでいくのか。	詳細は今後の検討となります。同様の建設事業には学校改築事業がありますが、その場合は継続費として予算を組んでいます。
76	事業報告及び決算報告書	旧施設	平成25年度～30年度の事業報告書ないし決算報告書は開示していただけないか。	平成29年度、30年度については区HPの「主要施策の成果」に掲載しています。それ以前の「主要施策の成果」は中央図書館で閲覧できます。
77	一般利用	旧施設	一般の利用はほとんどなかったのか。	制度上宿泊はできるようになっておりましたが、ほぼ申込がなかったと認識しています。
78	一般利用	旧施設	当時の仕様が10人以上の団体じゃないと泊まらない等の仕様になっていたのか。	当時の仕様は不明です。
79	学校利用の自由時間	旧施設	旧施設の時に館内での自由時間は設定していたか。	班ごとに風呂や土産コーナーに立ち寄る機会を設けていたケースがありましたが、就寝までの自由時間は室内で過ごすことが多かったと認識しています。
80	施設内の湿気	旧施設	カビに悩まされているとのことだが、旧施設は何か特殊な清掃を行っていたか。	特段そういった情報はありません。委託業務の中で清掃や通気に注意を払うレベルだったと想定しています。
81	外構清掃	旧施設	これまで落ち葉拾いはどれくらいの頻度で行われていたか。	当時の状況は分かりません。
82	旧施設の運営費	旧施設	今まで運営していた時の記録、料金の記録は現存しているか。	平成29年度、30年度についての記録が区HPの「主要施策の成果」に掲載されていますが、全ての合算金額となっています。
83	人員配置	旧施設	施設職員の方はどれくらいいたか。	文書の保存期間が満了しており、不明です。
84	地域連携	旧施設	地元との連携をとるために、組合や会合、繋がりがあったと思うが、そういった資料は残っているか。	資料がなく詳細は分かりませんが、地元自治会の賛助会員となっていたようです。
85	CM委託	基本計画	基本計画策定にあたり、支援業務を委託する予定はあるか。	すでにコンストラクション・マネジメント業務委託プロポーザルについてHPで公募を開始しています。
86	指定管理料の構造	運営	指定管理料は「固定額精算」でお考えか、あるいは「変動費連動（実績精算）」をお考えか。	提案内容により協議事項となります。
87		運営	自主事業で収益が出た場合は納税が必要で、その収益を施設に還元することについても提案内容か。	お見込みの通りです。
88	修繕の考え方	運営	小修繕についても提案内容か。	お見込みの通りです。
89	小中学校の利用計画	運営	児童の推移や利用時期などシミュレーションを開示していただきたい。	資料としてお示しできるレベルになればご提示したいと考えています。
90	開業前広報の費用	運営	開業前に広報しなくてはならないが、準備期間の費用は指定管理とは別か元々含まれているか	指定管理は議決案件であり議会を通し指定管理業者を選挙する形になりますので、準備期間の費用については提案内容になりますが、例えば別途契約を結ぶという方法も1つだと考えます。
91	一般利用の許容度	運営	誘致する団体等に縛りはあるか。	基本的に制限は設けなくていいと考えております。
92	利用区分の設定	運営	区民と一般市民の利用区分の設定の仕方はこちらの提案という解釈でよいか。	お見込みの通りです。
93	人員配置	運営	運営するにあたり想定している人員配置はあるか。	人員配置については提案内容になります。
94	現地採用	運営	提案の中で現地採用を考えているが、本案件の場合は日光市の方を採用すべきか、江戸川区の方を採用すべきか、	採用については条件を定めていません。
95	ITや予約システム	運営	HPの作成や、電子決済システムの導入も提案は可能か。	提案内容に含めていただければと思います。
96	災害時	運営	日光市で災害が起きた場合、江戸川区と日光市で結んだ協定のもと避難施設の対象となるのか、指定管理業者として日光市に提案させていただく形もあるのか。	江戸川区と日光市で協定を結び、日光市の要請に基づいて区が受け入れを決定し、指定管理業者をお願いする形になると想定しています。
97	緊急時対応	運営	安全管理の面で緊急搬送時に日光市のどの病院と連携先の指定があるか。	特に決まっておりません。
98	緊急時対応	運営	感染症については江戸川区と日光市の規定どちらに準ずるのがよいのか。	特に決まっておりません。

No.	件名	項目	内容	回答
99	教育プログラム	運営	キャンプファイヤー以外であったほうが良い野外活動があれば教えていただきたい。	学校によってさまざまな考えがあるため、選択肢が多くあることは望ましいものと考えます。
100	食事	運営	検食に関してはどのように対応するか。	教員が検食することは考えていません。
101	宿泊料金	運営	区として受益者負担額を減らしたい思いがあるのか、現状維持で特に問題がないという考えなのか。	現在の受益者（保護者）負担は5,600円/泊ですが、その金額を減らしたいと思っているわけではなく、上昇する幅を抑えていきたいと考えています。また、今まで体験できないものが体験できるようになり、利用料がその分増える場合は、許容され则认为ます。
102	学校利用と一般利用	運営	学校側の意見としては児童・生徒の安全管理や管理面で一般利用と分けられていることを期待されていると思うが、提案内容や運営事業者の手腕次第では同時受入れについて検討の余地があるのか。	現状は検討の余地がないと考えてください。 ただし、学校が利用する際は、ある程度人数を担保できるように調整したいと考えています。
103	学校利用と一般利用	運営	開業後に現場視察やヒアリング、検討策を練る等した結果、全ての懸念点が払拭された場合は同時受入れの可能性はあるのか。	可能性はあると認めます。
104	学校利用のスケジュール調整	運営	整備指針の中で年間130日使用すると記載があったが、一般の集客を考えると秋など繁忙期はなるべく一般の方向きに開放したい。今後協議をさせていただくことは可能か。	現時点では大まかな日程の想定をしているところですが、資料としてお示しできるレベルになればご提示したいと考えています。秋にも林間学校利用を考えていますが、基本は平日の宿泊のみのため、休日は一般利用が可能です。
105	学校の利用人数・宿泊数	運営	年間11,000人くらいの子供達が利用する想定になっていると思うが、基本的に毎年2泊3日で大体2万泊位と想定してよいか。	推計の資料では児童・生徒数も少しずつ減少傾向となっているため、開校時に1万人を下回る可能性はありますが、全校が2泊するという条件に変わりはありません。
106	教員の負担	運営	教員の方が負担に感じていること、逆にこういう活動をしたいなど、期待を持たれていることがあれば教えていただきたい。	アクティビティ関連においては、飯盒炊飯やキャンプファイヤーの準備・指導が負担という声があり、サポートを期待します。 また夜間の見回りや救急対応、途中帰宅などの安全管理の部分での提案にも期待します。
107	アクティビティ	運営	今後も教育施設として求める大事なポイント、根幹の部分など要求水準書には書かれていると思うが、考えていることを伺いたい。	民間の宿泊施設を利用するようになってから火を扱うことができなくなりました。「大人になっても記憶に残る2泊3日」を考えた時に、キャンプファイヤーや飯盒炊飯などは普段の生活・都市部で経験できないアクティビティであるため、そういった経験が様々なにできる施設をつくりたいと考えています。
108	指定管理期間	運営	長い期間で提案したいと思っているが可能か。	可能と認めます。
109	警備	運営	休所日や夜間は機械的な警備でも問題がないイメージか。	提案内容により協議とさせていただきます。
110	森林	運営	森林部の間伐・皆伐等の提案をして良いか。	可能です。 こちらでも事前の策が必要と認識しており、来年度に事前に間伐を計画しています。
111	宿泊料金	運営	一般利用の金額だけで賄っていくのは難しいと考えるが、学校利用時に生徒の料金設定を設けることはできるか。	学校利用時の料金設定は提案していただいて構いません。
112	宿泊料金	運営	宿泊料金の設定は条例で定めることになるか。	お見込みの通りです。
113	一般利用	運営	本件の想定でどれくらい来る、期待している人数の目安があるのか。	今の時点ではありません。「この設計内容で運営していけば、これくらいの利用が見込め、採算が合う」という提案をしてほしいと考えています。
114	宿泊料金	運営	一般利用客の宿泊料金について、今の時点で想定している金額はあるか。	特に想定はしておりませんが、市内にある民間宿泊施設との料金・コンセプトの双方で差別化を図り、共存共栄ができる形にしていきたいと考えています。

No.	件名	項目	内容	回答
115	広域避難所	運営	想定される機能、人数感、期間はるか。	第一に宿泊客の安全確保ができ、断続的にでも避難所としての機能が維持できることが必要と考えます。 災害ごとの受け入れ人数や期間については状況によって変わるため想定していません。
116	広域避難所	運営	開放する諸室はどこまでを想定しているか。	体育館だけでなく施設全体に及ぶこともあると考えます。
117	広域避難所	運営	区民の方が区外にでなければならない時に、日光以外に避難所となる区有施設はあるか。またその施設と同様に避難所として受け入れを行うことになるのか。	長野県安曇野市の穂高荘、新潟県南魚沼市の塩沢荘があります。 なお、穂高荘、塩沢荘については令和6年能登半島地震の際に避難者の受け入れを行っています。
118	教員用の手引き	運営	教員向けの移動教室の手引きがあれば開示していただきたい。	そういった手引きはありません。
119	予約スケジュール	運営	全校の日程を調整するタイミングは1年前くらいか。	現在は、小学校が1年前、中学校は学校によって2年前に予約する場合があります。
120	厨房	運営	厨房の扱いについて、給食センターや給食室などの扱いと同等と考えた方が良いのか。	衛生管理はしっかりしていただきたいと考えています。
121	広域避難所	運営	広域避難施設としての計画について、想定されている避難人数はいかがか。	避難場所としての考え方として、まずは宿泊者の安全確保が必要であるため300人規模である必要があります。
122	広域避難所	運営	基本的には林間学校としての考え方を主として考え、避難所になった際には状況に応じて対応という考え方で良いか。	お見込みのとおりです。なお、避難所となる場合は受け入れ可能な人数を申告するタイミングがあると思いますので、その時に相談という考えで良いと考えます。
123	広域避難所	運営	体育館の使い方、テントの数、食料の備蓄など提案すれば評価の対象となるのか。	「公共施設整備における民間提案制度実施要領」P8のとおりです。
124	一般利用	運営	施設整備後のソフト面の提案を考えているが、そういった提案は評価してもらえるのか。	評価をすることになります。
125	宿泊料金	運営	利用額の想定額はいくらか。	提案内容により協議事項となります。
126	アクティビティ	運営	学校の先生の視点をお伺いしたいのだが、アクティビティ時の先生の立ち位置について主導で動く、プロに任せるなどのスタンスはどのようにお考えか。	宿泊計画を立てる中で役割分担を決めて行動するため、主導で動く必要が無くなれば、助かると思う教員が多く、またその分見守りに徹することができるという感覚であります。
127	事業期間	運営	運営業者の事業期間は何年位を想定しているか。	江戸川区の指定管理は5年、長くて10年のものがほとんどですが、今回はその枠には囚われずにご提案いただき、その後の協議事項となります。
128	学校利用	運営	例えば定員300名のうち200名しか使用していない場合の残りの100名の考え方についてどう考えるか。また、日帰り利用者などの同時利用についてどのように考えるか。	設計も運営も見えていない状態なので、当面は宿泊・日帰りともに施設の同時利用は不可とさせていただきたいと考えています。
129	事業者の特性	運営	林間学校を運営する中で維持管理側で配置する人員の適性みたいなものは区で考え方がるか。	特に考えはありません。
130	人員配置	運営	新施設の場合、人員配置、運営、維持管理において24時間人がいた方がいいのか。区としてお考えはお持ちか。	夜中の救急対応や雨漏りなどに迅速にご対応いただける環境を整えていただきたいと考えています。
131	広域避難所	運営	災害時の広域避難施設の考え方を伺いたい。	施設に滞在されている方の安全確保が最優先です。 その上で、災害時はいくつかのパターンが考えられます。まず江戸川区から避難の必要性がある事態が生じた場合に江戸川区民を受け入れるパターン。 また日光市を中心とする地震等の自然災害があった場合、日光市の要請に基づき受け入れるパターンもあります。 さらに他地域における災害への広域支援として避難者を受け入れるパターンがあります。
132	修繕費	運営	施設のものを破損した場合、区の予算から修繕するのか、管理人らが修繕の予算範囲内で行うのか。	運営事業者のやりやすい形でご提案いただければと思います。
133	外構清掃	運営	今後どの程度森林の維持管理が求められるのか。	利用者が安心安全に過ごせる施設という視点で維持管理していただければと考えています。

No.	件名	項目	内容	回答
134	広域避難所	運営	避難所として施設が開設した場合は、運営は江戸川区でされる形になるか。	災害時協力協定を結ばせていただいて、運営の協力をお願いしたいと考えています。
135	広域避難所	運営	避難所として施設が開設した場合は、運営は区の指示に従う形になるか。	協定の内容次第ですが、遠隔地なのでお願いする形になるのではと考えています。
136	広域避難所	運営	協定は江戸川区と日光市で結ぶのか。	受託事業者と江戸川区になると想定しています。区のHPに災害時協力協定の締結に関する情報があるのでご確認くださいと思います。
137	広域避難所	運営	災害時の受け入れ人数が多くなることを想定して浄化槽の大きさを検討した方が良いか。	児童・生徒数よりも避難者が多くなることはあり得ますが、それを前提としての検討は不要です。
138	一般利用の宿泊料金	運営	一般利用の宿泊料金については特に制限はないという認識で良いか。	条例で上限額を定めることとなります。
139	事業収支	運営	運営フェーズの事業収支について、どれくらいの精密さが必要になるのか。	概算でお出しいただければと思います。
140	概算費の修正	運営	基本計画をまとめる段階で収支が変わってくる場合は、理由がつけば納得していただけるものなのか。	お見込みの通りです。
141	学校利用	運営	利用は全ての学校が対象になるのか。	現状は全校の小学校6年生と中学校2年生を対象にすることを考えています。
142	学校利用	運営	学校利用時に帯同される学校職員以外の方で林間学校に宿泊する方はどれだけいるか。	カメラマン、看護師、指導員が該当します。バスの運転手は時と場合によります。
143	学校利用	運営	最大受入れ校数は何校を予定しているか。	最大3校を予定しています。
144	食事提供	運営	例えば半調理品の提供はNGなど制約があったりするか。	事故のリスクを考えると、不可とするのが望ましいと考えています。
145	食事提供	運営	基準は江戸川区の給食センターの基準を参照して提供する考え方でよいか。	江戸川区に給食センターはありません。今後の協議になると考えます。
146	食事提供	運営	アレルギー対応はどのレベルを想定すればいいか。除去食なのか代替食の提案なのか。	基本は除去食という考えです。メニューによっては代替食の持ち込みが必要になる場合もあるかもしれません。
147	自主事業	運営	自主事業収入は運営サイドの収入としての取扱いで問題ないか。	提案により協議となります。
148	キャンセル料	運営	学校を中心とした利用規約のところでキャンセル料などの基準や規定はあるか。	現段階ではありません。
149	アクティビティ	運営	学校の活動の中で必須なプログラムはあるか。	キャンプファイヤーや飯盒炊飯は林間学校を再建する理由の1つとなっています。
150	アクティビティ	運営	現状2泊3日で1日は周遊観光されると聞いているが、実質的に1泊2日くらいの利用を想定すればよいか。	雨天であれば変わる可能性はありますが、現状は小学校は夕方まで外に出ていることが多く、中学校だと職場体験の実施などにより施設内にいる時間が長い傾向にあります。 しかし、今後は既存の概念に囚われず、素晴らしいプログラムをご提案いただければ全体の構成を変えることもあると考えています。
151	学校利用の宿泊日数	運営	宿泊期間を延ばす可能性はあるか。	現状は2泊3日で変わらないと思います。
152	宿泊プログラム	運営	宿泊プログラムを構成していくにあたり、何か定まったイメージはあるか。	特にありません。